



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月2日
上場取引所 東

上場会社名 東洋テック株式会社

コード番号 9686 URL <https://www.toyo-tec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 博之

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 入浦 直仁 (TEL) 06-6563-2111

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	34,458	38.1	2,768	382.9	2,845	367.6	2,148	397.7
2025年3月期第3四半期	24,954	7.7	573	△13.1	608	△15.0	431	14.3

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 2,121百万円(391.1%) 2025年3月期第3四半期 431百万円(△14.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	206.63	—
2025年3月期第3四半期	41.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	41,156	23,395	56.8
2025年3月期	38,798	21,738	56.0

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 23,395百万円 2025年3月期 21,738百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2026年3月期	—	32.00	—		
2026年3月期(予想)				33.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	20.3	2,450	133.5	2,550	139.8	1,600	131.0	153.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	11,440,000株	2025年3月期	11,440,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	1,013,411株	2025年3月期	1,084,021株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	10,396,806株	2025年3月期3Q	10,314,399株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因等により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する説明

グループ全体の業績に大きく貢献した「2025大阪・関西万博」が2025年10月に無事閉幕を迎えました。この経験は、東洋テックグループの可能性を証明する機会となり、貴重な財産となりました。

「2025大阪・関西万博」以外の既存業務においても、価格改定交渉の定着やイベント警備の引き続き堅調な受注により、前年同期比で増収増益を確保いたしました。

また、株式公開買付による株式売却により、396百万円の売却益を計上いたしました。

その結果、売上高は34,458百万円（前年同四半期比9,503百万円の増収）、営業利益2,768百万円（前年同四半期比2,195百万円の増益）、経常利益2,845百万円（前年同四半期比2,237百万円の増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,148百万円（前年同四半期比1,716百万円の増益）となりました。

事業セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(警備事業)

警備事業におきましては、万博関連売上が業績に大きく寄与し、常駐警備業務が大幅増収となりました。また、機械警備業務も堅調に推移し、すべての業務において増収となりました。

その結果、警備事業の売上高（セグメント間の内部売上高又は振替高は除く。）は、26,231百万円（前年同四半期比8,981百万円、52.1%の増収）、セグメント利益は2,131百万円（前年同四半期比1,883百万円の増益）となりました。

(ビル管理事業)

ビル管理事業におきましては、改修工事提案フローや継続的な価格改定への取り組みの定着もあり、前期より契約の見直しを実施しました不採算先の減収をカバーし、加えて万博関連の清掃・管理売上が業績に大きく寄与したことで増収増益となりました。

その結果、ビル管理事業の売上高（セグメント間の内部売上高又は振替高は除く。）は、7,859百万円（前年同四半期比804百万円、11.4%の増収）、セグメント利益は515百万円（前年同四半期比384百万円の増益）となりました。

(不動産事業)

不動産事業におきましては、不動産賃貸部門は安定的に推移する一方、前年同期のような大型の売却案件や不動産仲介案件がなかったことから減収減益となりました。

その結果、不動産事業の売上高（セグメント間の内部売上高又は振替高は除く。）は、367百万円（前年同四半期比△282百万円、43.4%の減収）、セグメント利益は128百万円（前年同四半期比△77百万円の減益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、18,289百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,569百万円増加しました。その主な要因は、その他流動資産（前払費用等）が414百万円減少しましたが、一方で現金及び預金が1,163百万円、A T M管理業務に係る受託現預金が985百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が843百万円増加したことによるものです。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、22,866百万円となり、前連結会計年度末に比べ212百万円減少しました。その主な要因は、投資その他の資産が206百万円増加しましたが、一方で有形固定資産が137百万円（うち建物及び構築物が158百万円）、無形固定資産が281百万円（うちのれんが206百万円）それぞれ減少したことによるものです。

(負債)

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、10,747百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,686百万円増加しました。その主な要因は、短期借入金が1,585百万円、賞与引当金が286百万円それぞれ減少しましたが、一方で1年内返済予定の社債が1,000百万円、1年内返済予定の長期借入金が1,199百万円、預り金が1,099百万円がそれぞれ増加したことによるものです。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、7,012百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,987百万円減少しました。その主な要因は、社債が1,000百万円、長期借入金が788百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、23,395百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,657百万円増加しました。

なお、自己資本比率は、前連結会計年度末の56.0%から0.8ポイント増の56.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、足元の業績は堅調に推移しているものの、2026年3月期第4四半期に次年度に向けた先行投資等の費用発生を慎重に見極める必要があると判断したため、2025年10月30日に公表しました「2026年3月期通期の連結業績予想、個別業績予想、並びに、剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」より変更はありません。

なお、今後、業績予想の修正が必要であると判断した場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,894,517	8,058,230
受託現預金	3,727,349	4,712,782
受取手形、売掛金及び契約資産	3,429,094	4,272,097
商品	11,267	6,503
貯蔵品	427,672	426,162
その他	1,232,408	818,014
貸倒引当金	△2,469	△4,343
流動資産合計	15,719,840	18,289,447
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,427,362	4,269,171
機械装置及び運搬具（純額）	2,375,003	2,363,878
土地	5,973,394	5,973,394
建設仮勘定	120,319	194,401
その他（純額）	624,759	582,376
有形固定資産合計	13,520,840	13,383,224
無形固定資産		
ソフトウェア	210,847	208,197
のれん	2,794,996	2,588,378
その他	782,868	710,900
無形固定資産合計	3,788,713	3,507,476
投資その他の資産		
投資有価証券	4,166,451	4,644,151
繰延税金資産	187,689	141,402
退職給付に係る資産	559,805	586,274
その他	862,161	613,351
貸倒引当金	△6,905	△9,192
投資その他の資産合計	5,769,202	5,975,987
固定資産合計	23,078,755	22,866,688
資産合計	38,798,596	41,156,135

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	287,777	230,949
短期借入金	1,645,000	60,000
1年内償還予定の社債	-	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	599,184	1,799,176
未払法人税等	554,408	779,700
契約負債	305,654	574,962
リース債務	53,633	53,400
預り金	852,307	1,952,281
賞与引当金	646,475	359,588
役員賞与引当金	35,511	60,257
その他	3,080,725	3,877,346
流動負債合計	8,060,678	10,747,661
固定負債		
社債	1,500,000	500,000
長期借入金	5,331,248	4,543,132
長期契約負債	219,943	-
リース債務	330,189	290,119
繰延税金負債	357,815	408,494
退職給付に係る負債	739,838	731,246
株式給付引当金	70,685	98,585
その他	449,943	441,066
固定負債合計	8,999,663	7,012,644
負債合計	17,060,342	17,760,305
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,618,000	4,618,000
資本剰余金	8,683,109	8,697,144
利益剰余金	9,510,351	11,102,070
自己株式	△1,026,198	△947,166
株主資本合計	21,785,262	23,470,047
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,256,628	1,247,385
土地再評価差額金	△1,362,016	△1,362,016
退職給付に係る調整累計額	58,377	40,412
その他の包括利益累計額合計	△47,009	△74,218
純資産合計	21,738,253	23,395,829
負債純資産合計	38,798,596	41,156,135

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	24,954,985	34,458,195
売上原価	19,978,497	27,435,565
売上総利益	4,976,487	7,022,630
販売費及び一般管理費	4,403,095	4,253,910
営業利益	573,391	2,768,719
営業外収益		
受取利息	709	6,644
受取配当金	81,316	88,494
その他	33,346	55,928
営業外収益合計	115,372	151,067
営業外費用		
支払利息	47,311	55,950
その他	32,963	18,253
営業外費用合計	80,274	74,203
経常利益	608,489	2,845,584
特別利益		
投資有価証券売却益	330,834	396,154
受取賠償金	-	55,612
特別利益合計	330,834	451,767
特別損失		
固定資産除却損	43,129	45,853
訴訟関連損失	12,248	-
その他	-	8,108
特別損失合計	55,377	53,962
税金等調整前四半期純利益	883,946	3,243,389
法人税、住民税及び事業税	325,702	998,405
法人税等調整額	126,590	96,619
法人税等合計	452,293	1,095,024
四半期純利益	431,653	2,148,364
親会社株主に帰属する四半期純利益	431,653	2,148,364

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	431,653	2,148,364
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,151	△9,243
退職給付に係る調整額	△873	△17,965
その他の包括利益合計	278	△27,208
四半期包括利益	431,931	2,121,155
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	431,931	2,121,155
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	警備事業	ビル管理事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,250,229	7,055,188	649,567	24,954,985	—	24,954,985
セグメント間の内部 売上高又は振替高	59,415	545,320	12,600	617,335	△617,335	—
計	17,309,644	7,600,508	662,167	25,572,320	△617,335	24,954,985
セグメント利益	247,719	130,671	206,114	584,505	△11,113	573,391

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間の取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

前第1四半期連結会計期間より、アムス・セキュリティサービス株式会社(大阪市)、アムス・セキュリティサービス株式会社(京都府福知山市)、アムス・シークレットサービス株式会社及び関西ユナイトプロテクション株式会社の発行済株式の全部を取得したため、同社を連結の範囲に含めております。これにより、警備事業セグメントにおいて、のれんの増加額は2,866,634千円となりました。なお、アムス・セキュリティサービス株式会社(大阪市)及びアムス・シークレットサービス株式会社は、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	警備事業	ビル管理事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,231,397	7,859,403	367,394	34,458,195	—	34,458,195
セグメント間の内部 売上高又は振替高	41,936	658,761	10,800	711,497	△711,497	—
計	26,273,333	8,518,164	378,194	35,169,693	△711,497	34,458,195
セグメント利益	2,131,339	515,188	128,989	2,775,516	△6,796	2,768,719

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間の取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	889,444千円	916,885千円
のれんの償却額	201,241千円	206,618千円